



株式会社ヒロハマ 社内報

<経営理念>

- 一、缶パーツとその関連技術を通じて、缶の社会貢献を全面的に支援しよう
- 一、一人一人の持つすべての能力を、共にベストの形で花開かせよう
- 一、現場で現物を見て現実を把握し、原理原則にのっとなって対処しよう
- 一、お客様と我々自身に還元するために、一切のムリ・ムダ・ムラを無くして最大の利益を追求しよう
- 一、国内外を問わず、自らの可能性を追求し、仕事を通じて社会に貢献しよう

7月迄業績	計画	実績	差異	%	昨年比	%	12月迄成り行き	昨年度実績
売上	255,268	251,461	-3,807	98.5%	25,673	111.4%	432,598 万円	403,780 万円
営業利益	10,965	15,669	4,704	142.9	6,896	178.6	21,008(4.86%)	15,463(3.83%)

<7月は出荷低迷でややブレーキ>

／お盆明けも厳しい残暑に要注意>

今年の夏季休暇は台風に悩まされた方も多かったと思いますが、いかがお過ごしでしたでしょうか。コロナ制限がない久しぶりの夏休みということでエンジョイできたのなら何よりです。8月は既に下旬に差し掛かりましたが、いまだに厳しい暑さが続いています。引き続き無理をせず、ご自身の体調第一で業務に臨んでください。

さて、7月の業績は上期までの流れから一転、急ブレーキとなりました。売上は単月で計画に対し 3,564 万円ダウン、特に関東管轄で顕著に低迷しました。営業利益もその影響で悪化し、当月は 521 万円にとどまりました。悲観することはありませんが、要因分析をしっかりと行うことが重要なので営業中心に実態把握に努めています。

東西工場では高稼働率を維持(7月千葉:83.1%、大阪:83.1%)で、安定供給を支えています。社外クレームが頻発している点は見逃ごせません。然るべき処置と、再発予防を取ってもらうよう関係各位、よろしくお祈りします。

【全社品質目標の達成状況】

- 安全第一 労災事故 0 件 : 7 月末で千葉 227 日、大阪 173 日、
労災事故ゼロ継続中。
- 品質クレーム : 7 月度千葉 2 件(社外 2 件)
- 累計 8 件(社内 0 件、社外 8 件)
大阪 0 件 - 累計 3 件(社内 0 件、社外 3 件)
- 全社年間目標 21 件以内に対し 11 件。
- すべて社外(外注・関連会社等)でつくった製品。
- 納期遅れ : なし
- コストダウン : 7 月度 計画 440 ⇒ 実績 532 (120%)
累計 3,976 (131%) ※万円
- 新規品売上 : 7 月度 東営 計画 656 ⇒ 実績 469 (71.5%)
累計 3,498 (83.4%)
大営 計画 139 ⇒ 実績 50 (36.0%)
累計 757 (78.5%) ※万円

<人を生かす経営>(13)

- 【2】相互尊重(6)
- (3)違いを理解する(2)

学歴

学歴の違いを、気にする人は気にします。しかし、私もいろいろな学歴の人を見てきましたが、世に言われる偏差値の高い学校出身の方が、みんな頭が良くて性格が良くて素晴らしい人ばかりかといえ、そんなことは全然ありません。出身校で人間の価値が測られるものではない、と断言できます。

ヒロハマの賃金体系も、便宜上新卒時点での基本給は、高卒・大卒等で分かれています。その後のランクアップや昇進は学歴とは全く無関係です。

誰でも一番になれる

一人ひとりが「違う」個性を持っているということは、逆に言えば、その人ならではの「力の発揮」ができるということでもあります。

昔、大阪工場にいたK君は、「自分は、中卒で中途採用、頭も良く

7月単月 (単位:万円)	売上		営業利益		営業利益累計	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
東京営業所	24,710	20,880	949	639	7,337	9,476
千葉工場	22,132	18,579	1,107	-556	2,270	1,941
大阪営業所	13,507	13,773	275	527	2,258	4,300
大阪工場	11,179	10,593	-65	-89	-899	-48
全社	38,217	34,653	2,266	521	10,966	15,669

稼働率 : 7 月度 千工 目標 81% ⇒ 83.1%(通年 82.0%)
大工 目標 79% ⇒ 83.1%(通年 81.6%)
東西ともに達成ペース

<東西にて永年勤続表彰が実施されました>

8月10日に当社の永年勤続の功績をたたえ、東西で12名の方々に表彰させて頂きました。ご本人のご努力、又サポートされるご家族のかたがたの、ご尽力の賜物と思います。今後とも、健康には十分にご留意いただき、ご活躍を期待いたしております。

- 40年勤続 鎌田善浩(東京営業所)
- 35年勤続 岩井秀喜(千葉工場技術課)
- 30年勤続 山崎むつみ(大阪工場生産管理課)
- 25年勤続 福本良一(大阪営業所営業課)
佐藤賢一(千葉工場製造課)
- 20年勤続 井上辰徳(千葉工場製造課)
- 15年勤続 井上亜夕実(千葉工場製造課)
森下恵梨(千葉工場生産管理課)
塩田祐輔(千葉工場製造課)
宍倉めぐみ(千葉工場製造課)
- 10年勤続 松尾孝子(千葉工場製造課)
緑川京子(千葉工場製造課)

以上敬称略

まことに、おめでとうございます。

8/25 廣瀨 庄一郎

ないし技術もないけど、これだけは誰にも負けない自信があります」と、面接で話してくれたことがありました。興味津々で「それって何?」と聞いたところ、当時キャップの抜きをオートプレスで担当していたK君、「送りがズレてしまって、印刷が真ん中に入っていないなどの不良品を見つけたとき、それがどの時点から発生していたのかを、納得するまで遡って調べる。これだけは誰にも負けない!」と言うのです。

当時でもダブルで抜いていたので1分間に150ストロークとしても300個出来てしまいます。遡って調べるって、ホントに大変なこと。でも、そこに誇りを持っているのです。凄い!と思いました。K君が、「そんなに沢山見るのは大変だし、まあいいか」と調べるのを怠ったら、後日品質クレームとなるのは必定。ヒロハマの品質を支える最後の砦となっているわけです。

このように、それぞれの取り組み方によって、少なくともヒロハマの中では、誰もが何かで一番になれると思うのです。

8/25 廣瀨 泰久